

平成２３年度理事会（総会）議事録

日 時：平成２３年１月１６日（日） １３時～１６時３０分

場 所：クーポール会館

出席者：６８名

会長挨拶

あけましておめでとうございます。みなさまのご協力により県連の運営がスムーズにできました。私事ですが、昨年の暮れに表彰を受けました。ありがとうございました。本日は議題がたくさんあります。スムーズな会議進行にご協力ください。

１．平成２２年度事業報告（落合理事長）

（１）会議等報告

理事会資料により主な会議報告、大会開催報告、選手強化育成報告、指導者育成に関する事業報告、会員登録状況、審判取得状況の説明をした。

（２）平成２２年度大会結果報告

理事会資料により大会結果の内、全国・東海・東日本大会の上位入賞者の報告をした。

２．平成２２年度表彰者（落合理事長）

理事会資料により、日本ソフトテニス連盟、静岡県ソフトテニス連盟の表彰者、ランキングを発表した。

３．平成２２年度会員登録状況および審判員資格取得状況の報告（落合理事長）

理事会資料により説明。会員登録は２１年度より４００人減った。その要因は中学生の会員登録が約７００人減ったことによる。

中学生の減については、原因等を調べ対応を検討する。

４．平成２２年度収支決算報告（鈴木事務局長）

理事会資料「平成２２年度収支決算書」により、予算と決算の差額が多い項目を中心に説明をした。

特に、大会により収入より支出が多いものがあるため、参加料、経費等の検討を行う。また来年度への繰越金が昨年より大幅に減ったこと、及び静岡県等からの補助金も事業仕分けの影響により、削減される可能性がある。

５．平成２２年度収支決算監査報告（松浦監事）

監査結果、決算について相違ないことを報告した。

６．平成２２年度事業報告及び収支報告に対する質疑応答及び承認

特に質問なく、承認された。

7. 平成23年度、24年度の役員改選

(1) 副理事長の増員について

小学生大会、強化練習会等が増えてきたこと、及び登録クラブも増えてきたこと等から、小学生担当の副理事長の増員を提案し、承認された。

(2) 23年度、24年度の新役員が選考委員よりの報告がされ承認された。

- ・会長 高木安一郎（留任）、副会長 沼本 脩（留任）、舩越徳太郎（留任）、岩本義久（留任）、金谷晴子（留任）、佐野正和（留任）
- ・理事長 落合敏男（留任）、副理事長 鷺頭典利（留任）、市川 博（留任）、小林 正（留任）、市川雅子（留任）、村中 優（留任）、菊池孝典（留任）、鈴木隆（中体連推薦新任）、渡瀬義正（小学生部会推薦新任）

(3) 東日本連盟、東海連盟の新役員（静岡県のみ）について報告をした。

- ・東日本連盟 副会長 高木安一郎（新任）
- ・東海連盟 監事 鷺頭典利（新任）、理事 菊地孝典（東海高体連推薦新任）、鈴木隆（東海中体連推薦新任）

8. 平成23年度日本連盟事業計画要旨報告（落合理事長）

(1) 理事会資料により日本ソフトテニス連盟の主な事業計画を説明。

変更点、特記事項

- ・国体の選手変更手続きにおいて診断書は提出不要になった。
- ・ユニフォーム着用基準の見直し（アンダーウェアについて検討する。）
- ・シングルス導入については、問題点が多く、反対意見も多くあることから、23年度は個人戦、団体戦への導入について再検討することになった。

(2) 東海連盟事業計画の内23年度の変更点

- ・東海実業団リーグ入替戦の参加料を1万円とする。
- ・競技者育成プログラムStep-3の日程について、1日目の開始を17時から13時とし、最終日の終了を15時から12時に変更する。
- ・東海シングルス選手権大会を11月19日に愛知県口論義テニスコートで実施する。

9. 平成23年度県連盟事業計画（案）提案（落合理事長）

(1) 理事会資料により静岡県ソフトテニス連盟の主な事業計画を説明

・財政健全化の検討

今までは、国体リハーサル大会（全日本実業団）、静岡国体、全日本選手権、ねりんピック、マスターズ等全国規模の大会が開催され、その寄付金、協賛金、広告料等で繰越金が確保できたが、今後、数年は全国規模の大会がないため、財政基盤が脆弱になってくる。また、静岡県等からの補助金が事業仕分けにより減額される方向にある。このため、会員登録の県連登録料の採用、大会参加料の改定等について検討する。

3月の常任理事会でご意見を伺いますので各地区協会の総会等で意見を集約して来ていただきたい。

- ・競技力向上事業の実施

Step 1－2については、各地区での実地体制・方法等バラ付がある。よりよい方向を模索しながら実施していきたい。

各地区協会の指導体制あるいは、指導者の育成が不可欠である。理事の皆様のご協力をお願いしたい。

- ・会員登録制度の徹底

中学生の登録者が減少してきた。重点的に対策を検討していきたい。

- ・指導者育成事業の実施

22年度に国体監督、コーチ及び小学生・中学生・高校生の指導者を対象に講習会を実施したが、23年度も引き続き実施していきたい。

- ・シニア、レディース層の強化練習会の実施

特に選手層が薄い、成年、40代、50代を対象に練習会を開催することにより、選手層の拡大を図りたい。

(2) 平成23年度大会日程の調整

「平成23年度大会・行事予定表」に基づき説明。

《変更・調整事項》

- ・県中学選手権大会は、男子と女子の日程が異なるため調整する。
- ・国体3次予選と東海実業団リーグが同一日となっているが、3次予選は2次予選の予備日であるため変更はしない。
- ・全日本シングルス選手権大会と国体2次予選が同一日となっているが、国体2次予選を優先し、変更はしない。
- ・中部地区競技者育成プログラムStep 1－2を追加記載する。
- ・近県高校インドア選手権大会を追加記載する。また、県連主催事業として開催するか検討する。
- ・県スポーツ指導員研修会と県シニア・テニ吉対抗大会の日程を調整する。
- ・小関杯高校女子大会を3月17日から20日に変更する。

10. 平成23年度収支予算（案）提案（鈴木事務局長）

理事会資料により、平成22年度決算額と差の多い項目を中心に説明した。

11. 平成23年度事業計画（案）及び収支予算（案）に対する質疑応答及び承認（質問）

- ・財政健全化については、23年度前期繰越金が3百万円程度あるため、24年度からの改定にしてもらいたい。

（回答）

- ・24年度からの改定を考えているが、早くに方向性を出したいので、3月の常任

理事会で意見を聞きたい。

(質問)

- ・ 会員登録金の支部への還元金は何に使われているのか。

(回答)

- ・ 会員登録金の支部への還元金の使途については強化費、小学生全国大会の団長・監督旅費の補助等に使用している。

(質問)

- ・ ジュニア審判資格試験で40点以下は、不合格となっているが、不合格者への対応はどうしているか。

(回答)

- ・ 不合格者を出さないよう、実技講習のときに点数の足りない者を再指導するとか、試験問題の回答説明のとき重点的に指導するとかの方法をとっている。

(質問)

- ・ 地元に戻って来てソフトテニスをやりたい学生、他地区から転入して来た社会人等の情報をもらいたい。

(回答)

- ・ 県連盟としては、全部を把握するのは難しい。各関係者からの情報を集めてもらいたい。

平成23年度事業計画（案）および収支予算（案）が承認された。

12. その他の連絡報告

- (1) 小学生が西日本小学生ソフトテニス連盟に加入し、平成22年12月11日・12日の西日本小学生ソフトテニス選手権大会に参加した。
- (2) 審判資格・技術等級の会員登録システムへの登録状況と今後の予定について、別紙資料により説明をした。統合作業のうえで不明なことがある場合は、県連担当者から各団体会員登録担当者に問い合わせをし、調査・確認をする。

議長挨拶

長時間に亘りありがとうございました。23年度新メンバーにより頑張っていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

理事会終了後、22年度の日本連盟支部功労者、支部優良団体、ランキング、静岡県連盟功労者、優良団体、優秀選手、優秀チームの表彰を行った。